SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	アジア海洋沖縄株式会社 代表取締役 吉岡　修平	当社は港湾・海洋工事を通じて社会インフラの整備・維持に携わる企業として、社員の健康・安全、環境保全、地域貢献、人材育成を重視し、SDGs の取組を推進しています。 【ゴール 3】 健康診断・人間ドック、高気圧業務健康診断、熱中症対策、AED 設置等、社員の健康・安全管理に取り組んでいます。 【ゴール 4】 資格・免許・講習等の受講を推奨し、費用を補助するなど人材育成を支援しています。 【ゴール 5】 有給休暇の取得、産前産後休業・男性社員の育児休業取得を推奨し、仕事と家庭の両立を支援しています。 【ゴール 9】 港湾・海洋工事を通じ、社会インフラの整備・維持に貢献しています。 【ゴール 11】 災害時の応急対策協定の締結、海岸・道路清掃、地域活動への寄付等を行っています。 【ゴール 12】 建設廃棄物の分別・適正処理を徹底し、環境負荷の低減に取り組んでいます。 【ゴール 14】 汚濁防止膜の設置、濁水の処理・回収、海岸清掃等により海洋環境の保全に取り組んでいます。 【ゴール 16】 暴力団追放、不当要求防止責任者講習の受講等、健全で公正な事業活動を推進しています。 【ゴール 17】 行政・地域・関係企業等との連携・協力を通じ、災害対応や地域活動に取り組んでいます。 普及に向けた予定している具体的な取組 ・SDGs の 17 のゴールについて社内で周知し、社員一人ひとりが SDGs を意識して業	

		務に取り組めるよう啓発する。 ・自社で実施する環境保全活動や地域貢献活動等の SDGs に関する取組を、ホームページを活用して発信する。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	神琉建設株式会社 代表取締役社長 三浦　純一	神琉建設株式会社は、地元社会への貢献、将来の世代のために地球環境や資源を守るため下記のＳＤＧｓに取り組んでいます。 【１．貧困をなくそう】 ・地元に貢献する企業として、若手離職者が再就職しやすく、カムバック就職もしやすい環境を整えています。 ・資格取得の費用を補助し、有資格者には手当を支給する制度があります。 【３．すべての人に健康と福祉を】 ・すべての従業員に年１回以上の健康診断を実施し、有所見者の再診率１００%を目指しています。 ・すべての事業所で毎日ラジオ体操を実施して従業員の健康増進に努めています。 ・『うちなー健康経営宣言』を行い職場の健康経営を見える化しています。 ・振替休日の１００%実施と、有給休暇の取得率向上を目指しています。 【５．ジェンダー平等を実現しよう】 ・すべてのジェンダーが当社のすべての職種につける環境があります。 ・安全衛生会議は単一のジェンダーで実施せず、社内すべてのジェンダーの代表が参加して会議を行っています。 【９．産業と技術革新の基盤をつくろう】 ・工事は、環境負荷を抑えた施工方法の確立および労働環境向上のためリスクアセスメントを取り入れた作業手順を策定して行っています。 ・海洋生物を飼育するリーフアクアリウムに使用する天然ライブロックに代わる人エライブロックの販売や、サンゴの有性生殖時の幼生を着床、養成させるための養殖用プレートの販売等を行っています。 ・技術革新の基盤となるよう、工事工法の講習会などに積極的に参加しています。 【１０．人や国の不平等をなくそう】 ・外国人の採用はもちろんの事、その技量に応じた職種についてもらえるように配慮します。 【１１．住み続けられるまちづくりを】	

SDGs の達成に向けた取組

		・公共工事にたずさわる企業として、ライフサイクルコスト低減のために高品質な製品を作ることに取り組んでいます。 【１２．つくる責任つかう責任】 ・企業活動から発生する廃棄物は、事務所、現場とも再生利用しやすいよう分別収集を行っています。 【１３．気候変動に具体的な対策を】 ・環境負荷を抑えた施工方法の確立や、事務所照明のＬＥＤ化による消費電力低減を行っています。 ・使用する機械は、排出ガス対策型建設機械を使用しています。 ・使用する自動車は、ハイブリッド型や、高燃費な車種を使用しています。 【１４．海の豊かさを守ろう】 ・サンゴ保全のため、海洋生物を飼育するリーフアクアリウムに使用する天然ライブロックに代わる人工ライブロックの販売や、サンゴの有性生殖時の幼生を着床、養成させるための養殖用プレートの販売等を行っています。その他シャコ貝の養殖基盤の販売など天然資源の保護にも取り組んでいます。 【１５．陸の豊かさも守ろう】 ・工事は、環境負荷を抑えた施工方法の確立および労働環境向上のためリスクアセスメントを取り入れた作業手順を策定して行っています。 【１７．パートナーシップで目標を達成しよう】 ・人工ライブロック、サンゴ養殖用プレート、シャコ貝の養殖基盤の販売などはホームページで紹介しており、他業者とも協力して普及に努めています。 普及に向けた予定している具体的な取組 ・おきなわ SDGs パートナーに登録された事実、内容をホームページに掲載し、すべてのステークホルダーに啓発します。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	水 ing エンジニアリング株式会社 沖縄営業所長 岩井　喬	当社は、「水」を通じていつまでも社会に貢献し続ける企業であることを企業理念に、長年培ってきた経験・技術を生かした「水」に関するトータルマネジメントにより、自然の循環システムを健全に維持する事業を展開しています。また、当社は水道、下水道、し尿、汚泥再生処理、産業水処理、浸出水処理、バイオマス、アミューズメントなど、水に関わる様々な分野で多数のプラント設備の納入実績を有しており、長年培ってきた経験・技術を活かし、災害に強いインフラの整備や資源回収・地域バイオマスの活用等による循環型社会の実現を目指しています。これからも「水の先をつくれ」をスローガンに、水だけでなく地域の皆様と一緒に住みよい社会の形成に寄与します。 当社グループは 50 年以上も前より国内外における水インフラの建設・管理を通じて社会貢献を行っており、「持続可能な社会」の実現を社会課題と位置付けたアクションプランを構築し、SDGs と結び付けた活動を行っています。 具体的活動： 【６．安全な水とトイレを世界中に】について、 「全ての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」という理念に基づき ・環境負荷を低減し、効率や経済性の改善を図るための水処理プロセス技術、維持管理技術の開発を進めている。 【１１．住み続けられるまちづくりを】について、 ・激甚災害を見据えた施設整備や運転維持管理を提案していくと共に、災害時の対応や復旧支援の準備を進めている。 ・天候データから発生し得る激甚化の予知とそのリスクを分析し、水インフラの運転・維持管理の対応を行う技術の開発を進める。また、実際に課題意識が強い顧客と実証試験を進めている。 ・水処理施設全体での最適化提案から始まり、施設の枠を超えて、都市圏や過疎地域を含めた広域の視点で最適なインフラを提案している。 ・レジリエントで維持可能な都市および人間居住を意識した水 ing 流街づくりのための新規事業開発を進めている。 【１２．つくる責任つかう責任】について、	

SDGs の達成に向けた取組

		・下水汚泥の削減や再利用につながる下水汚泥からのリン回収、バイオガス回収の案件開発を進めると共に、この推進を図るために製品製造・販売を含めたバリューチェーンの構築を目指している。 ・水インフラの廃棄物（上水汚泥、下水汚泥等）からの未利用資源の回収に関する技術開発に取り組んでいる。 【１３．気候変動に具体的な対策を】について、 ・水 ing グループの事業における現在の Scope1, 2 の排出量を把握し、見える化を図っている。 ・Scope3 の排出量を把握するための方法を検討している。 ・水 ing グループ全員の意識や知識レベルを向上するための教育や広報活動を行っている。 ・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に沿った情報開示を行っている。 普及に向けた予定している具体的な取組 ・年４回の環境活動（沖縄県や県内市町村主催の海岸・地域清掃）への参加を積極的参加イベントと位置付け、SDGs ロゴ入りビブスの使用による SDGs 認知活動を行う。 ・学生への SDGs 認知活動に向け、環境教育イベントとしての出前授業の提案を県下の中学校・高校・大学に向け企画・交渉を行う。 ・安全・安心な水道水提供、下水道及びし尿処理の安定運用を行いつつ、自治体が企画する施設見学へのタイアップを提案し、広く SDGs の認知活動へ繋げる。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	有限会社　名嘉工務店 代表取締役 名嘉　康次	当社は、創業２３年、地域に根差した工務店として住まいづくりに携わってまいりました。 建設業を通して、環境保全と社会貢献に努め、持続可能な社会の実現に向け、以下の SDGs に取り組んでまいります。 ①貧困をなくそう ・フードバンクへの食品の寄付を行っています。 ③すべての人に健康と福祉を ・年一回、全従業員の健康診断（人間ドック）の実施を徹底しています。 ・熱中症対策として、現場にて水分・塩分補給、温度管理、扇風機の設置を行っています。 ④質の高い教育をみんなに ・従業員の技能向上を目指し、資格取得支援制度を設け受講料の全額補助を行っています。 ⑦エネルギーをみんなに　そしてクリーンに ・事務所内の電気をＬＥＤに変更し、お昼休憩には一部照明を落とすなどエネルギー消費の削減に努めています。 ⑪住み続けられるまちづくりを ・地域清掃への参加、現場周辺の美化活動、台風などの災害復旧に積極的に取り組み、住みよい地域づくりに貢献しています。 ・寄付や募金（地域行事への寄付、地域の子供たちの部活動派遣への寄付、赤い羽根募金など）を通じて地域社会への貢献に取り組んでいます。 ⑫つくる責任　つかう責任 ・ペーパーレス化の推進と、社内で使用する資料には再利用可能な裏紙を使用し紙の使用量削減に努めています。 ・廃棄物の分別と適正な処理を実施しています。 ・建築廃材の削減とリサイクルに取り組んでいます。工事で余った切れ端など利用可能な木材を、地域の保育園に提供し物作りなどに利用してもらっています。	

SDGs の達成に向けた取組

		・リサイクル建設資材（ゆいくる材）を積極的に活用しています。 ・工事現場における赤土流出防止対策の実施を徹底しています。 ・低燃費建設機械を導入し、CO_2削減に取り組んでいます。 普及に向けた予定している具体的な取組 おきなわ SDGs パートナーのロゴマークを自社ホームページや名刺に活用し情報発信していきます。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	名護道路株式会社 代表取締役社長 嘉手川　悟	弊社は名護市を拠点に、創業から 26 年にわたり、沖縄県内の道路舗装・土木工事を通じて、地域のインフラ整備を支えてきました。「やんばるの舗装屋さん」として、地域社会への貢献と環境への配慮を大切にし、SDGs 達成に向けた以下の取り組みを推進しています。 【すべての人に健康と福祉を】 ・従業員の健康維持と疾病の早期発見を目的として、30 歳以上の全従業員を対象に、人間ドックを会社負担で実施しています。 ・日頃から従業員同士が互いの体調や現場の状況に気を配り、声を掛け合うことで誰もが安心して働ける職場環境づくりと、安全な作業の実施に努めています。 ・沖縄本島北部地域の医療支援の一助となるよう、民間救急ヘリコプター「MESH」のサポーターとして、継続的な運航支援を行っています。 【住み続けられるまちづくりを】 ・道路舗装・土木工事を通じて、道路などの社会インフラの整備・維持に取り組み、地域住民の安全な通行や交通の円滑化、地域の物流を支えています。 ・ISO9001（品質マネジメントシステム）の運用に基づき、施工品質の確保に努めるとともに、道路の長寿命化を通じて、持続可能な地域インフラの維持に貢献しています。 ・各種団体の活動を通じて、労働災害防止や地域防犯などの取り組みに参加し、関係団体と連携しながら安全で安心して暮らせる地域社会づくりに努めています。 【つくる責任 つかう責任】 ・ISO14001（環境マネジメントシステム）の認証のもと、工事で発生する建設副産物（アスファルト塊等）の分別を徹底し、再生材として有効活用することで、資源の循環利用と廃棄物の削減を推進しています。 ・施工時には、赤土流出防止対策を実施するとともに、低排出ガス建設機械を導入し、工事に伴う環境負荷の低減に努めています。 今後も、道路舗装・土木工事を通じた地域インフラの整備、従業員の健康維持、資源の有効活用および環境保全に継続して取り組み、持続可能な沖縄の地域社会づくりに貢献してまいります。 普及に向けた予定している具体的な取組	

SDGs の達成に向けた取組

		今後は、おきなわ SDGs パートナーへの登録を契機として、ホームページでの情報発信を充実させ、当社の SDGs に関する取り組みを社外へ広く発信していく予定です。 具体的には、「SDGs への取組」に関する紹介ページを設け、SDGs のゴール「すべての人に健康と福祉を」、「住み続けられるまちづくりを」、「つくる責任 つかう責任」に関連する取り組みを紹介していきます。 従業員の健康管理、道路舗装・土木工事による地域インフラの整備、民間救急ヘリコプター「MESH」への支援、建設副産物の再資源化や環境負荷の低減など、当社が実践している活動を発信していきます。 また、ISO 認証に関する情報や土木・舗装工事の施工実績・工事履歴についても、ホームページへの掲載や更新を進め、当社の品質確保、環境への配慮および地域社会への貢献について、社外の方々に伝えていきます。 さらに、登録後は、おきなわ SDGs パートナーのロゴマーク等を活用し、取引先や関係団体にも当社の取り組みを紹介することで、SDGs への理解促進に努めます。 今後も、日々の事業活動と地域貢献を通じた取り組みを継続するとともに、情報発信の充実を図り、持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	北部造園土木株式会社 代表取締役 仲間　康展	当社は、宜野座村および沖縄県北部地域に根ざした総合建設会社として、「地域基盤を支えるインフラ整備・維持管理」「働く人の安全・健康と安心できる職場環境づくり」「自然を守る環境保全」の 3 分野において SDGs の達成に向けた取り組みを推進しています。 【経済】地域・インフラ・技術（SDGs ゴール 8、9、11） ・災害に強いインフラ整備と生活基盤の強化 道路改良、橋梁・河川・港湾整備、水道施設工事、ダム植栽・維持管理工事等の確実な施工を通じて、自然災害への対応力を高め、住民が安心して暮らし続けられる地域インフラの維持・向上に貢献しています。 ・地元経済への還元と地産地消の推進 工事に必要な資材調達や業務下請発注において、県内・地元事業者を優先的に活用し、地域内での経済循環と安定した雇用の維持・拡大に努めています。 ・透明性の高い健全な経営 継続的に経営事項審査（経審）を受審し、入札参加資格を維持するとともに、公平で透明性の高い取引体制・品質管理体制を維持・運用しています。 【社会】人・安全・働き方（SDGs ゴール 3、4、5、8） ・「労働災害ゼロ」を目指す安全衛生管理 作業前の危険予測（KY）活動や日々の安全確認、定期健康診断の実施徹底により、社員および協力会社社員が安全・健康に働ける現場環境を維持しています（「うちなー健康経営宣言」登録）。 ・安心できる雇用・福利厚生基盤 社会保険の加入徹底をはじめ、建設業退職金共済（建退共）および中小企業退職金共済への加入・運用を通じ、将来にわたり安心して長く働ける福利厚生と労働環境を整備しています。 ・人材育成と技術向上 各種施工管理技士等の資格取得支援や技術講習会への参加をバックアップし、継続的な技術者の育成と現場対応力の向上に取り組んでいます。 【環境】廃棄物・自然保護（SDGs ゴール 12、13、14、15）	

SDGs の達成に向けた取組

		・産業廃棄物の適正処理と建設リサイクルの推進 工事現場で発生するコンクリート塊、アスファルト、木くず等の徹底的な分別・再資源化を推進しています。また、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付・管理し、不法投棄の防止に努めています。 ・赤土等流出防止対策等の環境保全 赤土等流出防止条例等の法令・規制を徹底遵守し、工事現場での沈砂池設置や土留めシート配置を行い、自然環境保全に取り組んでいます。 ・省エネ・CO2 削減とペーパーレス化 工事重機・車両のアイドリングの抑止や書類の電子化等を推進し、気候変動対策と環境負荷低減に取り組んでいます。 普及に向けた予定している具体的な取組 ・名刺・会社案内等へのロゴマーク掲載 「おきなわ SDGs パートナー」登録完了後、名刺や会社案内資料等にパートナーロゴマークを掲載し、日常の事業活動を通じて SDGs パートナーの認知度向上に貢献します。 ・現場仮囲い・看板へのステッカー掲示 当社が施工を担当する各工事現場の仮囲いや看板、事務所に「おきなわ SDGs パートナー」のステッカー等を掲示し、地域住民や通行者、協力会社へ SDGs の普及・啓発を図ります。 ・社内および協力会社への浸透 朝礼や安全衛生協議会等の機会を通じて SDGs の周知を行い、環境配慮と安全確保に取り組む体制づくりに努めます。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	有限会社丸金開発 代表取締役 金城　和好	当社は、大宜味村に根ざした建設会社として、「地域を支えるインフラ整備（経済）」「働く人の安全と健康（社会）」「沖縄の自然を守る環境配慮（環境）」の3分野から SDGs を推進しています。 【経済】地域・インフラ・技術（SDGs ゴール 8、9、11） ○災害に強いまちづくりへの貢献 台風等の自然災害が多い地域環境において、道路の整備や水道管修繕などの公共工事を通じ、住民が安心して暮らし続けられる生活基盤を構築しています。 ○地元経済への還元 工事に必要な資材の調達や作業の委託を行う際、大宜味村や北部エリアの企業を優先して活用し、地域内での経済循環と雇用の維持に努めています。 ○透明性の高い健全な経営 創業以来、公共工事に参加するための厳しい企業審査（経営事項審査）を受け、公平で適正な取引体制を維持しています。 【社会】人・安全・働き方（SDGs ゴール 3、8） ○「体が資本」を支える安全管理 社員が毎日ケガなく家族の元へ帰れるよう、作業前の危険予測ミーティングや安全点検を徹底し、「労働災害ゼロ」の現場環境を維持しています。 ○心身の健康増進 「うちなー健康経営宣言」に登録し、全社員の定期健康診断の受診を徹底。炎天下での過酷な作業も多い現場だからこそ、社員が活き活きと働ける環境を整えています。 ○安心して長く働ける雇用基盤 社員の社会保険（健康保険・厚生年金・雇用保険）加入徹底や建設業退職金共済（建退共）の制度活用を通じて、将来にわたり安心して働ける職場づくりを推進しています。 【環境】廃棄物・自然保護（SDGs ゴール 12、13、14、15） ○廃棄物の適正処理とリサイクルの推進 工事で出たコンクリート片などの分別・再資源化を徹底しています。また処理できない廃棄物についても、公的な追跡管理票（マニフェスト）を用いて厳格に管理し、不法投棄を防ぐとともに資源循環を図っています。 ○海と生態系を守る対策	

SDGs の達成に向けた取組

		県の条例を遵守し、工事中に発生する赤土が川や海に流れ出ないよう、濁りを沈めるための池の設置や、土砂崩れを防ぐシートでの保護等を徹底し、沖縄の海と生態系を守ります。 〇環境負荷低減 工事車両のアイドリングストップや、事務所の LED 化、書類のデジタル化など、身近なところから CO2 削減に取り組んでいます（ゴール 13）。 普及に向けた予定している具体的な取組 〇名刺・会社案内等へのロゴマーク掲載 「おきなわ SDGs パートナー」登録完了後、名刺や会社案内パンフレット等にパートナーロゴマークを掲載し、日常の営業・事業活動を通じて SDGs パートナーの認知度向上に貢献します。 〇現場仮囲い・看板へのステッカー掲示 当社が施工を担当する工事現場の仮囲いや事務所に「おきなわ SDGs パートナー」のステッカー等を掲示し、地域住民、通行者、協力会社等に向けて SDGs の普及・啓発を図ります。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	有限会社まるや開発 代表取締役 仲本　政功	当社は水道事業を通じて安全で安心して利用できる水を安定的に供給し地域社会の基盤を支えることで SDGs 達成に貢献しています。 SDGs 目標３．すべての人に健康と福祉を うちな一健康経営宣言を登録し、健康維持の為従業員に健康診断費用を負担して、毎年の受診を行い社員が心身共に健康で働ける職場環境作りを進めています。 SDGs 目標４．質の高い教育をみんなに 社員へ資格取得や技能講習を支援し、技術・技能の向上を図ります。 SDGs 目標６．安全な水とトイレを世界中に 水道設備や配管の適切な施工、維持管理を行い漏水や水資源の無駄を減らすとともに水資源を大切にする取り組みを進めています。 これらの活動はすべての人が安全な水を利用できる環境の確保に寄与し、安全で安価な普遍的かつ衡平なアクセスの実現のため取り組みます。 SDGs 目標９．産業と技術革新の基盤をつくろう 水道設備の適切な整備、更新を通じ災害や老朽化による断水リスクの低減に取り組み、安全で安定した水道環境に貢献いたします。 SDGs 目標１４．海の豊かさを守ろう 地域のクリーンアップ作戦に参加し海岸の清掃やごみの回収、分別を行い海の環境保全へ取り組んでいます。 SDGs 目標１５．陸の豊かさを守ろう 地域のボランティア美化活動に積極的に参加し道路や公共施設周辺の清掃、草木の手入れなどを行い、陸の環境保全に取り組んでいます。 SDGs 目標１６．平和と公正をすべての人に 暴力団追放、不当要求防止責任者講習を受講し不当要求等への適切な対応を学ぶことで公正で安心・安全な事業活動に取り組んでいます。 普及に向けた予定している具体的な取組 SDGs の取組内容をまとめた会社概要資料等を作成し、事務所．来客すスペースへの	

SDGs の達成に向けた取組

		提示や取引先 関係団体等への配布行います。また SDGs のパートナーのロゴマークを活用し当社の SDGs へ の取り組みを社外へ分かりやすく発信します。今後ホームペ等を整備する際には SDGs の取り組みに ついても掲載し持続的な情報発信い努めます。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	宮嶋建設株式会社 代表取締役社長 黒島　昭正	弊社は、ISO の国際規格や、地域の取組に基づき、企業としての社会的責任を果たすと同時に、働く人の健康と環境にも配慮した SDGs の達成にむけた職場づくりを進めています。 SDGS の取組方針として 3. すべての人に健康と福祉を ・うちなー健康経営宣言に参加し、働く人の健康と環境にも配慮した職場づくりを進めています ・職員の健康診断受診の促進とサポートを実施 4. 質の高い教育をみんなに ・地元高校生を対象とした職場体験学習の実施 ・CPD 受講や国家資格取得にむけたセミナーへの積極的参加 ・国家資格（土木・建築施工管理資格）や建設機械等の技能講習の受講料支援サポートの実施 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに ・使用する建設機械について、低燃費、低排出ガス対策型、低騒音型を導入し環境に配慮した機械及び車両を使用します 14. 海の豊かさを守ろう。 ・毎月海岸清掃ボランティアへの積極的な参加 ・工事での赤土流出防止対策の実施（赤土が雨等により海へ流出する事を防ぐためグリーンベルト植栽の実施） 15. 陸の豊かさも守ろう ・植林・植栽などの環境美化にむけて、地域ボランティア活動、清掃活動への積極的な参加 ・社内での植栽、育苗の実施 普及に向けた予定している具体的な取組 エコキャップへの取組 看板や広告等に SDGS パートナーロゴマーク使用	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	株式会社 山内組 代表取締役 山内　昌司	◆ SDGs 取組 当社は、持続可能な地域社会の実現に向け、環境保全・社会貢献・働き方改革（経済）の 3 分野において、SDGs の達成に資する取組を推進しています。 ■ 1. 環境への取組（SDGs 6・7・11・12・13） ・建設機械の始業前点検・月例点検・特定自主検査を徹底し、油圧ホース損傷等の事故を未然に防止。 ・エコモード稼働による燃費削減と CO_2 排出量の低減を継続的に実施。 ・ICT 施工の活用により、環境負荷の低減と施工効率の向上を両立。 ・廃材削減・資源循環など、環境配慮型施工を推進。 ■ 2. 社会への取組（SDGs 4・5・8・11・17） ・道路・公園等の地域清掃活動を継続的に実施。 ・防災協定に基づく災害時の応急対応に協力し、地域の安全確保に寄与。 ・地域イベント支援などを通じて、地域社会との連携強化を推進。 ・協力会社とのパートナーシップを重視し、建設キャリアアップシステム（CCUS）普及に取り組む。 ■ 3. 経済・働き方・技術革新（SDGs 8・9） ・沖縄県所得向上申請にもとずき社員の所得ｱｯﾌﾟを目指す ・うちなー健康宣言周知 ・沖縄県申請 ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽによる働き方改革の推進 ・ICT 施工の導入による生産性向上と施工品質の確保。 ・ISO9001・ISO14001 に基づく品質・環境管理の徹底。 ・技術力向上と持続可能な事業運営を目指した社内体制の強化。 当社は、これらの取組を継続し、地域とともに持続可能な未来の実現と SDGs 達成に貢献してまいります。 普及に向けた予定している具体的な取組 1. 地域清掃活動への参加を通じて、環境保全の重要性を共有 2. 協力会社への SDGs 周知 3. 月例 職長会議で基本理念と取組方針を説明 4. ICT 講習の拡充	

SDGs の達成に向けた取組

		5. 沖縄県ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ申請中 6. 沖縄県所得向上認証応援申請中 7. おきなわ SDGs ﾊﾟｰﾄﾅｰﾛｺﾞﾏｰｸ使用(名刺･工事看板会社掲示板)	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	屋我地エコツーネット 代表 栂村　宙子	屋我地エコツーネットはエコツアー事業を通し、持続可能な開発目標に貢献できる活動について以下の SDGs を積極的に取り組んでまいります。 1. 貧困をなくそう ・募金活動(地域の学校行事への募金・地域まつりへの募金)を行っています。 3. すべての人に健康と福祉を ・職員の健康を一番に考え、定期的な健康診断の呼びかけを行っています。 ・熱中症対策として、各現場に水分補給・塩分補給を行っています。 4. 質の高い教育をみんなに ・職員の人材育成・キャリアアップに伴い、資格取得に必要な費用や研修参加を会社で支援しています。 ・地域での出前学習や修学旅行の体験学習において、沖縄の自然や文化、環境について学ぶ機会を提供しています。 5. ジェンダー平等を実現しよう ・ジェンダー平等雇用で誰でも働ける会社創りをしています。 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに ・環境への配慮を意識し、人が少ない時間や昼休憩の際は調光を抑えたり電気照明を消す等、エネルギー消費を抑えるよう努力しています。 ・環境への配慮を意識し、閉店時には水道の元栓をしめ、雨水を利用するなど節水に努めています。 ・カヤックや自転車など、ガソリンを使わないツアーで収益をあげ、地域への環境負荷を減らしつつ、従業員の生活をささえています。 8. 働きがいも経済成長も ・週休 2 日を厳守し、労働条件（給与）の改善を行っています。 ・有給休暇の活用を推奨しています。 11. 住み続けられるまちづくりを ・社会インフラ整備を通じた街づくりに貢献しています。	

SDGs の達成に向けた取組

		・地域清掃や海岸清掃等、ボランティア活動に積極的に参加しきれいな街づくりに取り組んでいます。 12. つくる責任 つかう責任 ・社内ではペーパーレス化に伴い、電子保存（出勤簿、賃金台帳など）でコピー用紙の削減に努め、ミスプリントは社内で使用する資料に再利用するなど、３Ｒを意識した業務を行っています。 13.気候変動に具体的な対策を ・植樹されたマングローブの管理をすることで、二酸化炭素の定着を促しています。 ・カヤックや自転車を使ったツアーで、二酸化炭素の排出を抑えています。 14. 海の豊かさを守ろう ・ツアーを通じて、海に住む生き物を観察し、感動を与え、その豊かさを守る大切さを伝えています。 ・在来種の生息を脅かすマングローブの外来種駆除を実施し、生物多様性の維持に貢献しています。 15. 陸の豊かさも守ろう ・サイクリングなど島を巡るツアーの中で、陸から海を眺め、陸と海がつながっていることを実感し、海の美しい蒼さを守るためには、陸の緑が大切であることを伝えています。 17. パートナーシップで目標を達成しよう ・地域活性化のために、異業種（飲食店、宿泊業、体験施設）や行政と連携し、環境整備や若者の就労機会の創出に向けて取り組んでいます。 普及に向けた予定している具体的な取組 ・修学旅行生や個人のお客さまにエコツアーガイドを通じて、沖縄の自然の豊かさと守ることの大切さを伝え、SDGs の情報発信を行います。 ・地元の中学生とともに、外来種駆除の活動を継続し、県内の希望者とともに定期的なビーチクリーンを行い、SDGs の情報発信実施します。 ・おきなわ SDGs パートナーロゴマークを HP に使用し、トレンドを取り入れつつ、本業との関連性を伴った活動の情報発信を実施します。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	yu-i FACTORY 代表 幸地　賢尚	弊社ではこれまで焼却処分されてきた沖縄県産の「駆除ハブ」を購入活用して、沖縄で初めて「皮→革」へ鞣し加工を行い、デザイン・製造販売まで一貫して行ってます。 沖縄で初めてハブ革の鞣し加工から、デザイン・製造・製品化を一貫して行う唯一の FACTORY です。 県産「駆除ハブ」を活用し生態系を崩すことなく、環境にも配慮したアイテムを製作しています。 「怖い」「猛毒」のイメージが強いハブですが、縁起の良いと言われる数字、「八→８」の模様が所々にあるのが特徴です。 駆除ハブの活用により命の無駄遣いを極力無くし、ヒトの満足感にハブの「存在理由と模様」を活用してます。 SDGｓの取り組み方針としましては、 9　産業と技術革新の基盤をつくろう 12　つくる責任、つかう責任 を実施いたします。 9　産業と技術革新の基盤をつくろう 2006 年、これまで沖縄県内では加工されなかった「鞣し加工」の技術革新と実施を行いハブの「皮→革」の加工を本格的に行い 2008 年、東京都立皮革技術センターに製品化に必要な伸縮性や耐熱性等のテストを依頼し、革の基準値をクリアしました。 現在県内 6 市町村から、これまで焼却処分されてきた「駆除ハブ」を購入仕入れし、駆除ハブ購入→加工製造→各市町村販売所への卸→ふるさと納税活用→駆除ハブ購入へとつながる「ハブサイクル」を形成し、各市町村への財源化や地元の方々が地元のハブからできた製品を喜んで使用し、「産業と技術革新の基盤をつくる」上でも三位一体型なビジネスサイクルが生まれました。 12　つくる責任、つかう責任	

SDGs の達成に向けた取組

		加工に伴う「環境整備」を行い、「駆除ハブ」の仕入れ証明から、鞣し加工に関わる排水廃物方法や薬品など全てを証明し、日本皮革産業連合会が認定する「エコレザー基準」認定にて最高ランクのエキストラ（現ゴールド）を取得しています。 また、製造の際に使用する接着剤も水性を使用するなど、環境負荷や人的負荷を軽減した方法で行っております。「人と環境」に配慮し、「つくる責任、つかう責任」を意識した加工製造に取り組んでいます。またハブ革以外に使用している牛革もエコレザー認定取得により、100%エコレザー製品は大変希少です。 これからもハブの命をなるべく自然なカタチで、沖縄の伝統工芸や素材と共存して産業と技術革新の基盤をつくりながら、つくる責任、つかう責任を意識しながらこれからも「駆除ハブ」を活用していく次第です。 普及に向けた予定している具体的な取組 今後はエコレザーと共におきなわ SDGs パートナー取得や意義の伝達を、サインパネルや自社パンフレットなどに添付と配布を行う予定です。またオリジナルパンフレットがありましたら同様にお渡しお伝えして参ります。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載不要	有限会社良和組 代表取締役 平良　學	私たち有限会社良和組は、沖縄県北部地域を拠点に道路・河川・水道施設などのインフラ整備から住宅建設まで手がける総合建設会社として、「地域基盤を支えるインフラ整備」「働く人の安全・健康と安心できる職場環境」「自然を守る環境保全」の 3 分野において SDGs の達成に向けた取り組みを推進しています。 【経済】地域・インフラ・技術（SDGs ゴール 8、9、11） ・災害に強いインフラ整備と生活基盤の強化 道路改良、河川改修、新浄水場建設などの水道施設整備や公共施設の建設を通じて、自然災害への対応力を高め、住民が安心して暮らし続けられる強靭な地域インフラの維持・向上に貢献しています。 ・地元経済への還元と地産地消の推進 工事に必要な資材調達や業務下請発注において、地元事業者を優先的に活用し、地域内での経済循環と雇用の維持に努めています。 ・透明性の高い健全な経営 継続的に経営事項審査（経審）を受審し、公平で透明性の高い取引体制・品質管理体制を維持・運用しています。 【社会】人・安全・働き方（SDGs ゴール 3、4、5、8） ・「労働災害ゼロ」を目指す安全衛生管理 作業前の危険予測（KY）活動や日々の安全点検、定期的な安全衛生教育を徹底し、社員および協力会社社員が安全・安心に働ける現場環境を維持しています。 ・健康管理と安心の雇用基盤 社員の定期健康診断の受診徹底を通じて社員の健康増進に取り組んでいます。また、社会保険の加入徹底や建設業退職金共済（建退共）制度の活用を通じ、将来にわたり安心して長く働ける福利厚生と労働環境を整備しています。 ・人材育成と技術向上 各種施工管理技士等の国家資格取得費用支援や講習会受講をバックアップし、継続的な技術者の育成に取り組んでいます。 【環境】廃棄物・自然保護（SDGs ゴール 12、13、14、15）	

SDGs の達成に向けた取組

		・産業廃棄物の適正処理と建設リサイクルの推進 解体・建設現場で発生するコンクリート塊やアスファルト等の分別・再資源化に努めています。また、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を用いて適正処理を厳格に管理しています。 ・赤土流出防止 沖縄県赤土等流出防止条例等の法令規則を遵守し、工事現場での沈砂池設置や土留めシート等の対策を行い、自然環境の保全に努めています。 ・省エネ・CO2 削減とペーパーレス化 工事車両・重機のアイドリングストップ徹底や事務所の LED 化、電子化・ペーパーレスを推進し、環境負荷低減に取り組んでいます。 普及に向けた予定している具体的な取組 ・名刺・会社案内・ウェブサイトへのロゴマーク掲載 「おきなわ SDGs パートナー」登録完了後、名刺や会社案内、自社ホームページにパートナーロゴマークを掲載し、日常の事業活動を通じて SDGs パートナーの認知度向上に貢献します。 ・現場仮囲い・看板へのステッカー掲示 当社が施工を担当する工事現場の仮囲いや事務所等に「おきなわ SDGs パートナー」のステッカー等を掲示し、地域住民や協力会社へ SDGs の普及・啓発を図ります。 ・社内および協力会社への浸透 朝礼や安全衛生協議会等で SDGs の意識共有を行い、現場全体で環境配慮と安全確保に取り組む体制を強化します。	